

北海道社会学会ニュース

H.S.A.NEWSLETTER

発行：北海道社会学会事務局

〒060-0906 北海道札幌市東区北6条東3丁目3-1 サッポロ63ビル6階
北海道NPOサポートセンター気付

FAX: 011-299-6941 E-mail: socio@npo-hokkaido.org 担当 畑
郵便振替口座 02760-3-3085 URL <http://www.soc.nii.ac.jp/hsa>

HOKKAIDO SOCIOLOGICAL ASSOCIATION

c/o Hokkaido NPO Support Center,
Sapporo 63 Bldg., Kita 6 Higashi 3 3-1, Higashi-ku,
Sapporo, 060-0906 JAPAN

編集責任者：高田洋（庶務理事） 札幌学院大学社会情報学部 htakada@sgu.ac.jp

〒069-8555 江別市文京台11丁目 TEL 011-386-8111（代表） FAX 011-386-8113（代表）

第 58 回の北海道社会学会大会について

第 58 回北海道社会学会大会は、2010 年 6 月 19 日（土）・20 日（日）に北海道教育大学函館校（函館市）で開催されます。今回は 2 日間にわたっての開催となります。昼食弁当、託児をご希望の方は、必ず同封のアンケートにてファックスでお申し込みください（6 月 1 日まで）。

大会会場：北海道教育大学函館校 1 号館・7 号館

受付：1 号館 1 番講義室前

参加費：一般 4,000 円、学生 3,000 円、非会員 1,000 円

懇親会費：一般 4,000 円、学生 2,500 円

昼食弁当：600 円（両日要予約）

託児：無料（要予約）

懇親会会場：福利厚生施設 1 階 学生食堂

託児室：福利厚生施設 3 階 和室

連絡先：藤井廣美

〒040-8567 函館市八幡町 1 番 2 号

北海道教育大学函館校

電話・Fax：(0138)44-4356

e-mail: fujii@hak.hokkyodai.ac.jp

会場備付 PC: Windows XP、Microsoft Office 2003

【交通案内】

1. 札幌方面から JR を利用する場合

■札幌方面からの JR 特急の到着にあわせ、送迎バスが利用できます。バスは函館駅改札を出て、右手の朝市側から発車します。当日は案内のため函館駅改札口に開催校のスタッフがおります。スケジュールは以下の通りです。

6 月 19 日（土）

■スーパー北斗 2 号（10 時 11 分着）北斗 4 号（11 時 12 分着）スーパー北斗 6 号（11 時 54 分着）

□送迎バス：函館駅 12 時 30 分発、大学 12 時 45 分着

■北斗 8 号（12 時 49 分着）

□送迎バス：函館駅 13 時 30 分発、大学 13 時 45 分着
6 月 20 日（日）

■スーパー北斗 2 号、北斗 4 号、スーパー北斗 6 号

□送迎バス：函館駅 12 時 30 分発、大学 12 時 45 分着

（6 月 20 日は函館駅 9 時発、大学 9 時 15 分着のバスも運行します。）

2. 大学から函館駅までの帰りの送迎バス

■6 月 19 日、20 日の両日とも大会ないし懇親会終了後に函館駅までの送迎バスが利用できます。スケジュールは以下の通りです。

6 月 19 日（土）

■大学 18 時発、五稜郭公園前電停経由、函館駅 18 時 20 分着

■大学 20 時 20 分発、五稜郭公園前電停経由、函館駅 20 時 40 分着

6 月 20 日（土）

■大学 16 時 30 分発、函館駅 16 時 45 分着（五稜郭公園前電停には止まりません。）

3. 各種交通機関を利用する場合

函館バス

■JR 函館駅ターミナル「函館駅前」から函館バス（14 系統）で約 10 分、「宮前町」下車、バス停から徒歩で約 7 分。（土日は本数がほとんどありませんので市電またはタクシーをご利用ください。）

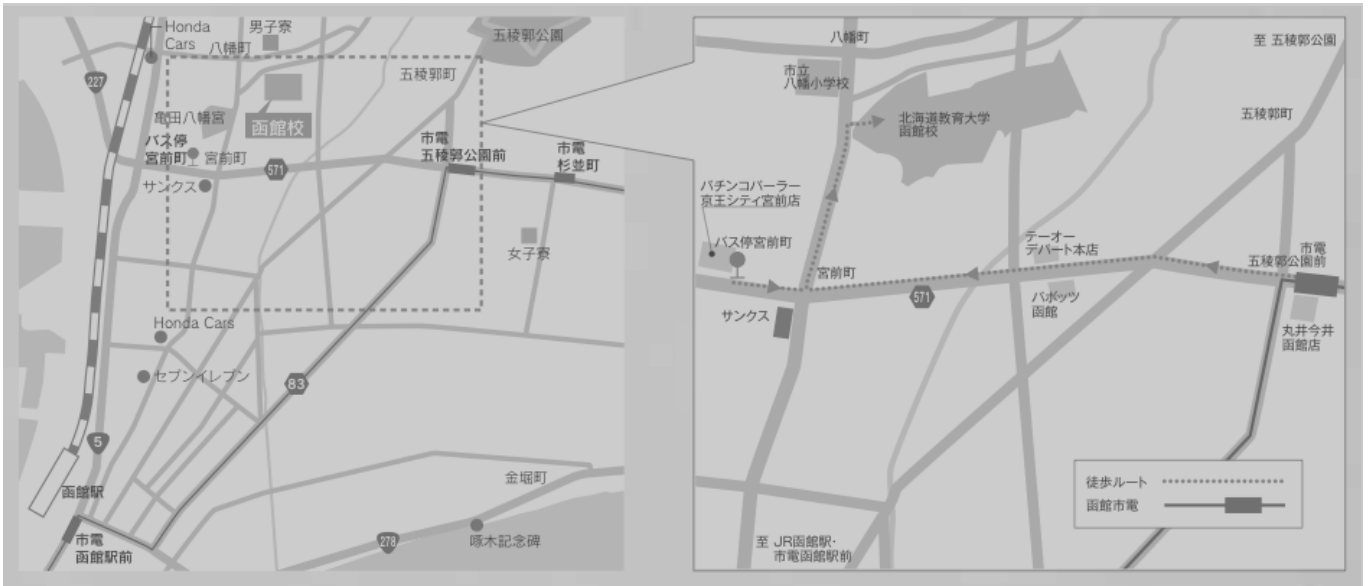
函館市電

■「函館駅前」から「湯の川」行きに乗車で約 10 分、「五稜郭公園前」を下車、電停から徒歩で約 15 分。（土日の昼間は約 5 分間隔で運行しています。）

タクシー

■JR 函館駅から車で約 10 分、JR 五稜郭駅から車で約 5 分、または函館空港から車で約 25 分。（五稜郭公園前電停から車で約 5 分です。）

各バス停および電停から徒歩の場合は、次頁の図を参考にしてください。



【キャンパス内の案内】

当日は正面玄関よりお入りください。正面玄関入って右手1番講義室前に受付を設置しております。一部の入り口を除き、出入口は施錠されていますのでご注意ください。なお、学会開催中は北方教育資料館(国指定登録有形文化財)を解放します。



第 58 回北海道社会学会大会プログラム

【2010年6月19日(土)】

理事会 13:00-14:30 (1号館1階大会議室)

参加受付開始 14:00 (1号館1階1番講義室前)

開会の辞 14:30-14:35 (1番講義室)

北海道社会学会会長

小内 透

開催校挨拶 14:36-14:40 (1番講義室)

北海道教育大学副学長 (函館校担当)

鷹澤好博

一般研究報告 (報告 20 分+質疑応答 10 分)

PART I 14:45-16:55 (1番講義室) 司会 松岡昌則 (北海道大学)

国際移民の教育をめぐる諸問題

人見泰弘 (北海道大学大学院文学研究科)

アイヌ民族の教育不平等の実態とその要因

野崎剛毅 (國學院大學北海道短期大学部)

利尻島における小学生の食と健康に関するフォトボイス

道信良子 (札幌医科大学医療人育成センター)

— 「つながり」 への関心の発達に着目して—

山田恵子 (札幌医科大学医療人育成センター)

北海道の山間・漁村地域における健康と家族

高橋延昭 (札幌医科大学医学部附属臨海医学研究所)

— 留萌市と士別市の女性たちの活動を通して—

平賀明子 (北星学園大学短期大学部)

PART II 14:45-16:55 (14番講義室) 司会 平沢和司 (北海道大学)

不登校の親の会をめぐる課題とそのゆくえ

菊地千夏 (北海道大学大学院教育学院)

— 参加者の変動に注目して—

ボランティア組織における対抗規範はどのように創出されるのか?

竹中 健 (北海道大学大学院文学研究科)

高校生における自己の使い分けと友人関係の使い分け

菅原健太 (北海道大学大学院教育学院)

「若年ゲイ男性」 へのインタビュー調査がはらむ陥穽

宮崎 理 (北星学園大学大学院社会福祉学研究科)

総会 17:00-17:40 (1番講義室)

懇親会 18:00-20:00 (福利厚生施設1階 学生食堂)

【6月20日(日)】

受付開始 9:30 (1号館1階1番講義室前)

PART III 10:00-12:00 (1番講義室) 司会 原 俊彦 (札幌市立大学)

博物館の現状・課題に関する一考察

細川健裕 (財団法人 北海道開拓の村)

— 平成 20 年度博物館総合調査の分析を中心に—

社会参加と社会意識—日本と韓国の 6 地域の比較分析—

高田 洋 (札幌学院大学社会情報学部)

小泉政権による新自由主義的改革はなぜ支持されたのか

濱田国佑 (北海道大学大学院教育学研究科)

— 2005 年 SSM 調査データの分析から—

統一教会は日本宣教に成功したのか?

櫻井義秀 (北海道大学大学院文学研究科)

昼食 12:00-13:00 (2番講義室)

編集委員会 12:00-13:00 (小会議室)

研究活動委員会 12:00-13:00 (大会議室)

シンポジウム打ち合わせ 12:00-13:00 (応接室)

シンポジウム 13:00-16:00 (1 番講義室)

地域メディアとコミュニティの関係性

司会・コーディネーター

小内純子 (札幌学院大学)

報告 1 FM いるかの取り組みとコミュニティへの関わり

宮脇寛生 (FM いるかプロデューサー)

報告 2 <コミュニティの二重性>から<コミュニティ意識の二重性>へ

—CMC 研究の立場から地域コミュニティについて考える—

内田啓太郎 (北海道教育学函館校)

コメンテーター

北郷裕美 (札幌学院大学専門員)

閉会の辞 16:00-16:05

北海道社会学会副会長

櫻井義秀

会員異動 (2010 年 3 月～5 月、敬称略)

(ホームページ公開版では省略)

振り込みください。年会費は一般会員 6,000 円、学生・院生会員 4,000 円です。**2010 年度までの会費を完納された会員にのみ『現代社会学研究』第 23 巻(本年 6 月発行)を学会大会の受付で配布の予定です。**未納の会員には、会費の完納が確認され次第、後日郵送いたします。5 年間滞納されると、自然退会の扱いとさせていただきます。

会員情報の更新について

住所や所属が変更になったときは、遅滞なく郵便かメールで事務局 (担当: 畑 socio@npo-hokkaido.org) までお知らせください。その際、e-mail アドレスもお忘れなくご登録ください。

北海道社会学会事務局の移転について

5 月 22 日より学会事務局が新しい住所に移転します。新しい住所とファックス番号は以下の通りです。ファックスは 28 日に開通予定です。

会費の納入について

年度が改まりましたので 2010 年度分の会費を同封の郵便振替用紙で納入くださいますようお願いいたします。過年度分で未納がある会員はあわせてすみやかに

【住所】〒060-0906 北海道札幌市東区北 6 条東 3 丁目 3-1 サッポロ 63 ビル 6 階 北海道 NPO サポートセンター 気付 【FAX】 011-299-6941

第 58 回北海道社会学会大会シンポジウム

テーマ:「地域メディアとコミュニティの関係性」

地域社会の疲弊が叫ばれる一方で、様々な地域再生への取り組みが各地で起こってきている。それらの取り組みでは、地域の実情に即し多様な「まちづくり」のためのツールが用いられている。それは、「温泉」であったり、「特産品」であったり、「ミュージカル」であったりと、実に多彩である。

そのなかで、今回の学会シンポジウムでは、地域メディアがもつ「まちづくり」のツールとしての可能性について考えてみたい。地域メディアがコミュニティとどう関わり、どう変えてきたのか、また今後どのように変えていく可能性をもっているのだろうか。具体的な事例を通じて検討していく。

このテーマは、今回の学会が函館で開催されるという事情と密接に関連して採用された。なぜなら函館には、日本で初めて開局したコミュニティFM放送局「FM いるか」が存在するからである。そこで報告者のお一人に「FM いるか」のプロデューサーの宮脇寛生さんをお迎えした。もうお一人は、かつて「電脳村」と呼ばれた富山県山田村の調査研究を長くされている内田啓太郎会員にお引き受け頂いた。コメンテーターは、地域メディアに詳しい北郷裕美さんをお願いした。

函館の地で地域メディアの可能性について熱い議論が展開されることを期待しています。多くの方の御参加をお願い致します。

報告者①: 宮脇寛生(FM いるか プロデューサー)

タイトル: FM いるかの取り組みとコミュニティへの関わり

報告者②: 内田 啓太郎(北海道教育大学 函館校)

タイトル: <コミュニティの二重性>から<コミュニティ意識の二重性>へ
—CMC 研究の立場から地域コミュニティについて考える—

* CMC : Computer-mediated Communication

コメンテーター 北郷 裕美(札幌学院大学専門員)

司会・コーディネーター 小内 純子(札幌学院大学)

当日のスケジュール

6/20(日)大会 2 日目 午後

(12:00-13:00 シンポジウム打ち合わせ)

13:00-13:10 司会:主旨説明

13:10-13:55 第一報告(40分)+質疑(5分)

13:55-14:40 第二報告(40分)+質疑(5分)

14:40-15:00 コメント(20分)

15:00-15:15 休憩

15:15-15:55 ディスカッション(40分)

15:55-16:00 閉会の辞

(研究活動委員会委員長 原俊彦)

第 58 回大会に関するアンケートについて

学会大会準備のため、以下のアンケートをとらせていただきたく思います。ご回答の上、6月1日までにファックスにて送付していただきますようお願い申し上げます。

1. 学会大会のご出席/ご欠席について

19 日	a)ご出席	b)ご欠席
20 日	a)ご出席	b)ご欠席

2. 懇親会（19 日 18:00～）のご出席/ご欠席について

懇親会	a)ご出席	b)ご欠席
-----	-------	-------

3. 昼食（お弁当：各 600 円）のご注文について

19 日	a)要	b)不要
20 日	a)要	b)不要

4. 託児希望日時、お子様のご年齢・人数

ご年齢 _____ 人

ご氏名： _____ 所属： _____

FAX 番号 (0138) 44-4356

北海道教育大学函館校 藤井廣美 行